

報告第29号

令和4年度公益財団法人宇治市野外活動センター経営評価の
報告について

宇治市の出資法人への関わり方の基本的事項を定める条例第5条
第1項の規定に基づき、令和4年度公益財団法人宇治市野外活動セ
ンター経営評価について、別紙のとおり報告する。

令和5年9月14日提出

宇治市長 松 村 淳 子



5 公財宇野活 70 号

令和 5 年 6 月 25 日

宇治市長 松村 淳子 様

宇治市西笠取辻出川西 1 番地
公益財団法人 宇治市野外活動センター
代表理事 杉本 厚 夫



宇治市出資法人自己評価報告書の提出について

宇治市の出資法人への関わり方の基本的事項を定める条例第 4 条第 2 項に基づき、次のとおり報告します。

宇治市出資法人自己評価報告書

1. 法人の概要

団体名	公益財団法人 宇治市野外活動センター	設立年月日	平成 11 年 3 月 24 日
公益財団法人への移行年月日			平成 23 年 4 月 1 日
基本財産	50,000 千円 (移行前 50,000 千円 うち市出えん・出資額 50,000 千円 出資比率 100%)		
設立目的	宇治市総合野外活動センターの管理・運営を行うとともに、野外活動に関する事業を通じて、青少年の豊かな感性と責任感を育み、人々の学ぶ喜びを増進し、人と人との連帯感を高めることにより、生涯学習の推進を図り、もって新しい文化と活力ある地域社会の創造に寄与することを目的とする。		

2. 役職員等の状況

		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度		
		市職員	市OB	市職員	市OB	市職員	市OB	
役員等	常勤	1	0	1	0	1	0	1
	非常勤	12	1	12	0	12	0	5
職員	管理職	1	0	1	0	2	0	0
	一般職	10	0	10	0	8	0	0
	計	11	0	11	0	10	0	0

* 役員等と職員を兼務している場合はそれぞれ 1 人でカウントしている。

3. 事業の概要

主要事業名	事業内容
活動支援事業	センター利用者の円滑な活動を支援するため、天体観察での天文ボランティアの手配や創作活動の指導、助言を行うとともに、農業体験やふるさと体験のできる活動を紹介し、その実施について調整を図った。また、より充実した活動プログラムの開発を行うため、野外活動に関する最新情報の収集を行った。
野外活動奨励事業	予約不要のイベントを開催し、市民が気軽に野外活動に親しめる機会を提供するとともに、幅広い層に野外活動センターの利用が促進されることを目指した。
活動体験事業	生涯学習の推進を図るため、天文教室、陶芸教室等、様々なイベントを企画・実施した。
宇治市総合野外活動センター管理運営事業	総合野外活動センターの管理運営を宇治市より指定管理者として指定を受け、施設の管理運営業務を行った。

4. 財務状況

1) 正味財産の状況

(単位：円)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
収 益	129,689,689	135,178,133	145,864,028
収益事業収益等	2,689,250	3,730,661	31,943,091
市支出金	127,000,439	131,447,472	113,920,937
人件費	69,558,856	72,440,159	71,612,834
事業費	57,441,583	59,007,313	42,308,103
費 用	129,266,199	134,603,449	145,693,092
人件費	69,558,856	72,440,159	71,612,834
事業費	59,707,343	62,163,290	74,080,258
当期経常増減額	423,490	574,684	170,936
当期一般正味財産増減額	423,490	574,684	170,936
正味財産期末残高	52,092,117	52,666,801	52,837,737

2) 貸借対照表

(単位：円)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
資産合計	107,654,754	109,608,471	113,718,444
流動資産	22,017,048	21,536,980	22,480,007
固定資産	85,637,706	88,071,491	91,238,437
負債合計	55,562,637	56,941,670	60,880,707
流動負債	22,017,048	21,536,980	22,177,548
固定負債	33,545,589	35,404,690	38,703,159
正味財産合計	52,092,117	52,666,801	52,837,737
基本財産	50,000,000	50,000,000	50,000,000
その他正味財産	2,092,117	2,666,801	2,837,737

3) 市財政支出の状況

(単位：円)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
補助金	71,584,966	74,273,126	0
委託料	55,415,473	57,174,346	113,920,937
その他(分担金等)	0	0	0
計	127,000,439	131,447,472	113,920,937
貸付金	0	0	0
借入金残高(期末)	0	0	0
市の債務保証残高(期末)	0	0	0
市の損失補償残高(期末)	0	0	0

4) 主要経営指標

指標	算式	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人件費比率	人件費計÷費用計	53.8%	53.8%	49.2%
自己資本比率	正味財産計÷資産計	48.4%	48.0%	46.5%
流動比率	流動資産÷流動負債	100.0%	100.0%	101.4%
借入金依存度	借入金残高÷総資産	0%	0%	0%
借入金返済能力	長期借入金÷(減価償却費+税引後利益)	0%	0%	0%

5. 経営評価（法人自己評価）

視点	評価	コメント
目的適合性	A	<ul style="list-style-type: none"> ・近年の社会情勢の変化の中で、自然とのふれあい・自然の中での交流など自然に対する関心が高まりつつあり、総合野外活動センターの果たす役割と期待は大きく、より多くの市民に余暇活動や生涯学習の場を提供できるような取組や、地域振興を兼ねた農業体験イベントを実施するなど、財団設立の目的に合致した施設運営を行っている。 ・指定管理者として管理運営業務仕様書、協定書に基づき事業を計画、実施した。 ・イベント実施にあたってはSDG s 目標を設定し、チラシ等でSDG s の周知に努めた。 ・新型コロナウイルス感染症の状況下でのアウトドア需要の高まりに応えるため、自然の中で安心安全に楽しんでもらえる事業を展開した。
効率性	B	<ul style="list-style-type: none"> ・林間学習において小学校間の利用調整を行い、新型コロナウイルス感染症の影響による日程延期やプログラム調整など、施設の効率的な利用に努めた。 ・冬期の利用促進を目的に毎週末イベントを実施するなど、施設利用増進に努めた。 ・年間を通じて節電・節水を励行し経費の縮減に努めた。 ・各イベントについてはホームページからの申込受付や、メールインフォメーション、SNS で情報を発信した。イベント実施に当たっては、定員の縮小、短時間での開催、密を避けた安全なプログラムの実施等、新型コロナウイルス感染症対策に努めた。 ・お客様のニーズにこたえ、また収益増にもつなげるため、予約不要の工作イベントを開催した。 ・主催大会の定期開催やお得なセットプランを販売するなど、グラウンド・ゴルフの普及に努めた。 ・テレビ、ラジオ、雑誌、Web 媒体等の取材に応じ、施設のPRに努めた。

		<ul style="list-style-type: none"> ・お客様の情報検索を容易にし、利用促進につなげるためホームページリニューアルを実施した。 ・キャッシュレス決済を導入し、お客様の利便性向上と事務効率化を図った。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により年度前半はキャンセルが多かった。年度後半にはコロナ禍前に近い利用者数に回復したが、年間集計では目標とされていた令和元年度の利用者数、料金収入には届かなかった。
組織運営 健全性	A	<ul style="list-style-type: none"> ・職員一人ひとりがコスト意識や施設経営を意識するように心がけ、サービス向上に努めた。 ・公益財団法人として理事会・評議員会・監査は定期、随時に行った。 ・法人運営にあたっては、各種法令、規則を遵守している。 ・業務継続計画（BCP）や安全管理マニュアルを策定し、リスクに備えている。
財務 健全性	A	<ul style="list-style-type: none"> ・公益法人会計基準に基づき適正に処理を行うとともに、日常の経理業務での会計ソフトの利用やレジアプリの新規導入により、事務効率化を図っている。 ・基本財産についてはリスクの低い定期預金で確実に運用している。 ・財務状況の透明性をより高めるため、財務状況（貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録等）をホームページ上で公開している。 ・各種業務契約や人員配置の見直しにより、必要経費を削減した。
総合評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者として合理的かつ効率的な施設運営を心がけ、より多くの方々に施設を利用していただけるよう各種事業を展開した。 ・市内のみならず市外・府外からの利用者の増加をめざし、ホームページやSNS、その他広報活動による情報発信により認知度を高めている。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の状況下においても、安心してご利用いただけるよう、京都府の予防ガイドライン等を参考に感染拡大防止の取組に努めるとともに、京都府の旅行支援事業「きょうと魅力再発見旅プロジェクト」も活用し集客に努めた。 ・お客様の利便性を高めるため、適宜修繕や施設整備に努めた。 ・指定管理者として健全な経営を持続発展できるよう、経費の削減に努めた。

評価の目安 A：良好である B：ほぼ良好である C：やや課題がある D：課題が多い